



ADVENTURES IN PHOTOGRAPHY 写真の冒険

Works by Chicago Photographers
from the Ishimoto Yasuhiro Collection

2024.4.10 wed. → 7.3 wed. 9:00 - 17:00
(令和6) (入場は16:30まで)

会場 | 高知県立美術館 1階 展示室D

観覧料 | 一般 370円 (290円)、大学生 260円 (200円)、高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金。 ※年間観覧券所持者は無料。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、

戦傷病者手帳及び被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)、高知県及び高知市長寿手帳所持者は無料。

※「イッタラ展」(4/14-6/16) 観覧券所持者は無料(当日限り有効)。

※本展観覧券で他のコレクション展もご覧いただけます。

主催 | 高知県立美術館 (公益財団法人高知県文化財団)

高知県立美術館コレクション・テーマ展
シカゴの写真家たちを中心に
石元泰博コレクションより

マーヴィン・E・ニューマン《Running Boys》(Shadow) シリーズより1951年
© Estate of Marvin Newman, Courtesy of Howard Greenberg Gallery, New York

ADVENTURES IN PHOTOGRAPHY

Works by Chicago Photographers
from the Ishimoto Yasuhiro Collection

写真とは、
人生と同じく、冒険である。

（写真家／インスティテュート・オブ・デザインでの石元泰博の恩師）

——
ハリー・キャラハン



ネイサン・ラーナー 《Eye and Strings》1939年 ©Kiyoko Lerner



アロン・シスキん 《Feet 102》1957年
©Virginia Museum of Fine Arts



ハリー・キャラハン 《Eleanor》1948年
© Estate of Harry Callahan, courtesy Pace Gallery

当館が誇る「石元泰博コレクション」には、高知ゆかりの写真家・石元泰博の自作のみならず、同時代に活躍した写真家たちの手によるプリントも含まれています。本展では、石元が写真を学び、多大な影響を受けたインスティテュート・オブ・デザイン（通称ニュー・バウハウス）の恩師や学友をはじめとするシカゴの写真家たちや、生前交流のあった国内外の写真家たちの作品を中心に紹介します。

主な出品作家（図版掲載以外）

ラースロー・モホイ＝ナジ、ルシアン・クレイグ、エメット・ゴーウィン、チャールズ・スウェッドランド、須田一政、原直久、奥村光也 他（予定）

特別上映

丹下健三「自邸」再現 CG

制作：TOPPAN 株式会社

監修：豊川斎赫（千葉大学准教授）

石元の眼差しにもとづき制作されたCG映像を上映します。

※会期中ループ上映。



【参考】石元泰博《自邸（丹下健三）》1955年頃
個人蔵 ©高知県、石元泰博フォトセンター

トークイベント

「丹下健三と石元泰博」

丹下研究の第一人者である建築史家の豊川斎赫氏に、丹下建築と石元写真の関係や、CG映像の制作秘話などについてお話いただけます。

日時：5月11日（土）14:00-15:30

会場：1階 講義室

聴講無料・予約不要

石元泰博・コレクション展

「きらめき」

ガラスや陶器、漆器等を被写体にした作品を紹介します。

会期：4月14日（日）- 6月16日（日）

会場：2階 石元泰博展示室

学芸員によるギャラリートーク

日時：4月27日（土）、6月8日（土）各13:30-

※要観覧券

石元泰博（1921-2012）

米国サンフランシスコ生。3歳から18歳までを両親の郷里・高知県で過ごし、戦後シカゴで写真を学ぶ。日本の伝統建築にモダニズムを見出した〈桂離宮〉や、拠点としたシカゴや東京の街と人々を写した作品など多彩な仕事を手掛け、国内外で高い評価を受ける。



石元泰博
フォトセンター
高知県立美術館

高知県立美術館
THE MUSEUM OF ART, KOCHI

781-8123 高知市高須 353-2

Tel. 088-866-8000 Fax. 088-866-8008

高知県立美術館 moak.jp

石元泰博フォトセンター iypc.moak.jp